令和4年度 教員資格及び教育内容等の自己評価書報告 _{令和5年7月31日}

< 理学療法学科 >

様式3

理学療法学科 教員資格及び教育内容等の自己評価書

【自己評価 1-1】専任教員の配置状況

				専任教							
学部 ・学科等 の名称	副校長	学科長	副学科長	専任 教員	計	基準数	う理療士は業法数ち学法又作療士数	助手	非常勤 教員	専任教 員一 り あ た 籍 学生数	備考
理学療法学科	1人	1人	1人	4人	8人	6人	8人	0人	38 人	16.6人	2022 年度 在籍 数 139

【自己評価 1-2】当てはまる自己評価欄に○をつけてください。

自己評価	評価内容	判定
	理学療法士又は作業療法士である専任教員の配置人数が適正であり、かつ関連領域を教授で	3
	きる医師等の専門家が配置されている。	3
	理学療法士又は作業療法士である専任教員の配置人数が適正である。	2
	理学療法士又は作業療法士である専任教員の人数が適正でない。	1

【自己評価1-3】当てはまる自己評価欄に○をつけてください。

自己評価	評価内容	判定
	全ての養成施設指導ガイドラインの教育内容(講義)を専任教員か、専任教員と同等以上の	4
	知識を有する教員が担当している。	4
	9割以上の養成施設指導ガイドラインの教育内容(講義)を専任教員か、専任教員と同等以	3
	上の知識を有する教員が担当している。	3
	8割以上の養成施設指導ガイドラインの教育内容(講義)を専任教員か、専任教員と同等以	0
	上の知識を有する教員が担当している。	2
	上記以外である。	1

【自己評価1-4】当てはまる自己評価欄に○をつけてください。

自己評価	評価内容	判定
	専任教員(理学療法士又は作業療法士)は、全員が臨床に携わることで臨床能力の向上に努	3
	めている。	J
	専任教員(理学療法士又は作業療法士)は、一部が臨床に携わることで臨床能力の向上に努	2
	めている。	2
	専任教員 (理学療法士又は作業療法士) は、臨床に携わることで臨床能力の向上に努めてい	1
	ない。	1

【自己評価 2-1】養成施設指導ガイドラインとの連動状況

分野			担	担当教員	
(基礎・ 専門基礎 ・専門)	指定規則 教育内容	相当授業 科目名	当コマ数	氏名	職名 (専任・ 兼任)
基礎分野		社会心理学	30	田中豊治	兼任
		社会福祉学	30	鬼崎信好	兼任
		地域福祉論	30	鬼崎信好	兼任
		老人福祉論	30	鬼崎信好	兼任
		生涯教育論	30	溝内亮佑	兼任
		心理学	60	津田彰/吉良晴子	兼任
	科学的思考の基礎	教育学	60	佐藤洋希	兼任
	人間と生活	統計学	30	中村博和	兼任
	社会の理解	くらしとマルチ メディア	30	中島道夫	兼任
		体育 1	45	坂元瑞貴/大川裕行/藤井洋恵	兼任
		体育 2	45	坂元瑞貴/藤井洋恵	兼任
		英語 1	30	木原 誠	兼任
		英語 2	30	内山美枝子/山炭春香/坂本飛鳥	専任/兼 任
専門基礎	人体の構造と機能	解剖学1	45	嵯峨 堅	兼任
分野	及び心身の発達	解剖学2	45	太田啓介/嵯峨堅	兼任
		解剖学実習1	45	田平陽子	兼任

			1		
		解剖学実習 2	45	田平陽子	兼任
		生理学1	30	山炭春香・木下佳祐	専任
		生理学2	30	鶴崎政志	兼任
		生理学3	30	鶴崎政志	兼任
		生理学実習	45	政所和也/他	専任
		運動力学総論	30	北島保子	専任
		運動学	45	北島保子	専任
		運動学実習	45	政所和也	専任
	疾病と障害の成り立ち	病理学概論	30	濱田信之	兼任
	及び回復過程の促進	臨床心理学	30	津田彰/吉良晴子	兼任
		内科学1	30	藤田有加	専任
		内科学2	30	熊川恵子/井﨑義己/川﨑隆	兼任
		整形外科学1	30	國分裕一	専任
		整形外科学2	30	國分裕一	専任
		神経内科学1	30	木下佳祐	専任
		神経内科学2	30	木下佳祐	専任
		精神医学	45	増本政也・中野慎也	兼任
		人間発達学	30	新田博司	兼任
		画像読影	15	星原正則	兼任
	保健福祉とリハビリテ ーションの理念	リハビリテーシ ョン概論	30	高森真須美	専任
		リハビリテーシ ョン医学	30	浅見豊子	兼任
専門分野	基礎理学療法学	理学療法士・作 業療法士論	30	藤田有加・石田真由	専任
		理学療法概論	30	高森真須美	専任
		理学療法概論実 習 1	45	高森真須美/高木雄作	専任
		理学療法概論実 習 2	45	藤田有加・岡孝二	専任/兼
		臨床能力演習1	30	木下佳祐・他	専任
		臨床能力演習 2	30	木下佳祐・他	専任
	理学療法管理学	理学療法管理学	30	高森真須美	専任
	理学療法評価学	理学療法評価学	45	山炭春香	専任

理学療法評価学 表習 1 山炭奉音 専任 要任 要報 2 1 山炭奉音 専任 要任 実習 2 理学療法疾患別 30 藤田有加/北島保子/山炭巻香/他 専任 運動療法学実習 45 政所和也 専任 運動療法学実習 45 政所和也 専任 物理療法学 1 30 政所和也 専任 物理療法学 1 30 政所和也 専任 特理療法学 2 30 政所和也 専任 日常生活活動学 45 竹井和人 専任 日常生活活動学 45 竹井和人 専任 事任 音生活活動学 45 竹井和人 専任 事務と学 2 30 政所和也 専任 事務と学 2 30 政所和也 専任 事任 華藤法学 30 東京和中 東任 華藤法学 30 東京和学 東任 学療法学 2 30 東京和学 東任 李藤法学 30 藤田有加 専任 療法学 1 大島保子 専任 東京 2 2 東京 2 30 藤田有加 専任 療法学 2 2 東京 2 30 藤田有加 専任 東京 2 4 5 東京 2 2 東京 2 5 東任 東子 3 5 東任 東子 2 5 東任 東子 3 5 東任 3 5 東子 3	1	1			
実習2 理学療法疾患別評価等 30 藤田有加/北島保子/山炭春香/他 専任 運動療法学業別 45 政所和也 専任 運動療法学業別 45 政所和也 専任 地應療法学 1 30 政所和也 専任 物理療法学 1 30 政所和也 専任 物理療法学 2 30 政所和也 専任 日常生活活動学 45 竹井和人 専任 東書記書籍書理学 30 國分裕一 専任 連動器障害系理 45 北島保子 専任 学院法学 1 西路高書選門学 30 藤田有加 専任 療法学 2 内部障害系理学 30 藤田有加 専任 療法学 1 内部障害系理学 30 高森真須美 専任 療法学 1 神経障害系理学 30 高森真須美 専任 療法学 1 神経障害系理学 30 高森真須美 専任 療法学 1 地経障害系理学 30 高森真須美 専任 東京建学 30 高森真須美 専任 東任 東京建 2 理学療法プロセ 30 高森真須美 専任 東京建 2 理学療法プロセ 30 東京養養養養養養養養養養養養養養養養養養養養養養養養養養養養養養養養養養養養			45	山炭春香	専任
評価学			45	山炭春香	専任
理学療法治療学 運動療法学 45 政所和也 専任 運動療法学実習 45 政所和也 専任 物理療法学 1 30 政所和也 専任 物理療法学 2 30 政所和也 専任 日常生活活動学 30 竹井和人 専任 日常生活活動学 45 竹井和人 専任 東習 30 財子和人 専任 運動器障害系理 字療法学 1 2 北島保子 専任 学療法学 1 内部障害系理学 30 藤田有加 専任 療法学 1 内部障害系理学 30 福島竜也/古竹陽介 兼任 療法学 2 神経障害系理学 30 高森真須美 専任 療法学 1 地域選学療法プロセ 45 國分給一 専任 ス 2 ル児理学療法学 30 流和第一 東任 東任 海 2 地域理学療法学 30 流和第一 東任 東任 海 45 国分給一 専任 東任 東任 東任 海 45 国分給一 東任			30	藤田有加/北島保子/山炭春香/他	専任
運動療法学実習 45 政所和也 専任 物理療法学 1 30 政所和也 専任 物理療法学 2 30 政所和也 専任 日常生活活動学 30 竹井和人 専任 日常生活活動学 45 竹井和人 専任 東報 書 30 東新語傳書系理 30 北島保子 専任 学療法学 1 中部障害系理学療法学 2 内部障害系理学療法学 30 藤田有加 専任 療法学 1 内部障害系理学療法学 30 高森真須美 専任 療法学 2 神経障害系理学療法学 30 高森真須美 専任 療法学 2 神経障害系理学療法学 30 高森真須美 専任 東接法学 2 神経障害系理学療法学 30 高森真須美 専任 療法学 2 神経障害系理学療法学 30 高森真須美 専任 療法学 2 地域サブロセ 45 國分裕一 専任 ス 1 理学療法プロセ 45 國分裕一 専任 エ 2 1 東子療法プロセ 45 國分裕一 専任 エ 3 2 水 5 東子 4 東子 4 長子 東子 4 東子 4 東子 4 東子 4 東子 4 東		臨床運動学	30	竹井和人	専任
物理療法学 1 30 政所和也 専任 物理療法学 2 30 政所和也 専任 事任 日常生活活動学 30 竹井和人 専任 日常生活活動学 45 竹井和人 専任 東智 競技業具学 30	理学療法治療学	運動療法学	45	政所和也	専任
物理療法学 2 30 政所和也 専任 日常生活活動学 実習		運動療法学実習	45	政所和也	専任
日常生活活動学 45 竹井和人 専任 日常生活活動学 45 竹井和人 専任 東習		物理療法学1	30	政所和也	専任
日常生活活動学 45 竹井和人 専任 実習 義ស装具学 30 國分裕一 専任 運動器障害系理 30 北島保子 専任 学療法学 2 中部 中部 中部 中部 中部 中部 中部		物理療法学2	30	政所和也	専任
実習 義阪装具学 30 國分裕一 専任 運動器障害系理学療法学 1 30 北島保子 専任 運動器障害系理学療法学 2 45 北島保子 専任 ウ部障害系理学療法学 2 30 藤田有加 専任 内部障害系理学療法学 2 30 福島竜也/吉竹陽介 兼任 神経障害系理学療法学 2 30 高森真須美 専任 神経障害系理学療法学 1 30 高森真須美 専任 理学療法プロセス1 45 國分裕一 専任 理学療法プロセス1 45 國分裕一 専任 工工2 小児理学療法学 30 渡部雄一 兼任 塩床動作分析学 30 木下佳祐/ラ岡光徳 専任/兼任 塩床理学療法学 45 中林紘二・吉村惠三 兼任 地域理学療法学 地域リハビリテーション 30 倉富眞/大川内直木/美濃光・他 兼任		日常生活活動学	30	竹井和人	専任
運動器障害系理 学療法学 1 30 北島保子 専任 運動器障害系理 学療法学 2 45 北島保子 専任 内部障害系理学 療法学 1 30 藤田有加 専任 内部障害系理学 療法学 2 30 福島竜也/吉竹陽介 兼任 神経障害系理学 療法学 1 30 高森真須美 専任 神経障害系理学 療法学 2 30 高森真須美 専任 理学療法プロセ ス 1 45 國分裕一 専任 理学療法プロセ ス 2 45 國分裕一 専任 ル児理学療法学 30 液部維一 兼任 臨床動作分析学 30 木下佳祐/弓岡光徳 専任/兼任 塩床動作分析学 45 中林紘二・吉村恵三 兼任 地域リハビリテ ーション 30 倉富眞/大川内直木/美濃光・他 兼任			45	竹井和人	専任
学療法学 1 運動器障害系理 学療法学 2 45 北島保子 専任 学療法学 2 内部障害系理学 療法学 1 30 藤田有加 専任 療法学 1 内部障害系理学 療法学 2 30 福島竜也/吉竹陽介 兼任 療法学 2 神経障害系理学 療法学 1 30 高森真須美 専任 療法学 2 神経障害系理学 療法学 2 30 高森真須美 専任 原法学 2 理学療法プロセ ス 1 45 國分裕一 専任 ス 2 ル児理学療法学 30 渡部雄一 兼任 原任/兼任 原任/兼任 原本理学療法学 45 中林紘二・吉村恵三 兼任 地域リハビリテ 30 地域理学療法学 45 中林紘二・吉村恵三 兼任 兼任 地域リハビリテ ーション		義肢装具学	30	國分裕一	専任
学療法学 2 内部障害系理学療法学 1 30 藤田有加 専任 内部障害系理学療法学 2 30 福島竜也/吉竹陽介 兼任 神経障害系理学療法学 2 30 高森真須美 専任 神経障害系理学療法学 1 30 高森真須美 専任 理学療法プロセ ス 1 45 國分裕一 専任 理学療法プロセ ス 2 45 國分裕一 専任 小児理学療法学 30 渡部雄一 兼任 臨床動作分析学 30 木下佳祐/弓岡光徳 専任/兼任 塩床理学療法学 45 中林紘二・吉村恵三 兼任 地域リハビリテ つション 30 倉富眞/大川内直木/美濃光・他 兼任			30	北島保子	専任
療法学 1 内部障害系理学療法学 2 30 福島竜也/吉竹陽介 療法学 2 神経障害系理学療法学 1 30 高森真須美 神経障害系理学療法学 2 30 高森真須美 専任 理学療法プロセス 1 45 國分裕一專任 理学療法プロセス 2 45 國分裕一專任 小児理学療法学 30 渡部雄一兼任 臨床動作分析学 30 木下佳祐/弓岡光徳 専任/兼任 塩麻理学療法学 45 中林紘二・吉村恵三兼任 地域リハビリテ 20 倉富眞/大川内直木/美濃光・他兼任			45	北島保子	専任
療法学 2 神経障害系理学療法学 1 30 高森真須美 専任 神経障害系理学療法学 2 30 高森真須美 専任 理学療法プロセス 1 45 國分裕一 専任 理学療法プロセス 2 45 國分裕一 専任 小児理学療法学 30 渡部雄一 兼任 臨床動作分析学 30 木下佳祐/弓岡光徳 専任/兼任 臨床理学療法学 45 中林紘二・吉村恵三 兼任 地域理学療法学 地域リハビリテーション 30 倉富眞/大川内直木/美濃光・他 兼任			30	藤田有加	専任
療法学 1 神経障害系理学療法学 2 30 高森真須美 専任 理学療法プロセ ス 1 45 國分裕一 専任 中児理学療法学 30 渡部雄一 兼任 臨床動作分析学 30 木下佳祐/弓岡光徳 専任/兼任 臨床理学療法学 45 中林紘二・吉村恵三 兼任 地域理学療法学 地域リハビリテ 30 倉富眞/大川内直木/美濃光・他 兼任			30	福島竜也/吉竹陽介	兼任
療法学 2 理学療法プロセス1 45 國分裕一 専任 現学療法プロセス2 45 國分裕一 専任 小児理学療法学 30 渡部雄一 兼任 臨床動作分析学 30 木下佳祐/弓岡光徳 専任/兼任 臨床理学療法学 45 中林紘二・吉村恵三 兼任 地域リハビリテーション 30 倉富眞/大川内直木/美濃光・他 兼任			30	高森真須美	専任
フェリア			30	高森真須美	専任
ス2 小児理学療法学 30 渡部雄一 兼任 臨床動作分析学 30 木下佳祐/弓岡光徳 専任/兼任 臨床理学療法学 45 中林紘二・吉村恵三 兼任 地域リハビリテーション 30 倉富眞/大川内直木/美濃光・他 兼任			45	國分裕一	専任
臨床動作分析学 30 木下佳祐/弓岡光徳 専任/兼任 臨床理学療法学 45 中林紘二・吉村恵三 兼任 地域理学療法学 地域リハビリテーション 30 倉富眞/大川内直木/美濃光・他 兼任			45	國分裕一	専任
塩床理学療法学 45 中林紘二・吉村恵三 兼任 地域理学療法学 地域リハビリテ ーション 30 倉富眞/大川内直木/美濃光・他 ・・ション 兼任		小児理学療法学	30	渡部雄一	兼任
地域理学療法学 地域リハビリテ 30 倉富眞/大川内直木/美濃光・他 兼任 ーション		臨床動作分析学	30	木下佳祐/弓岡光徳	
ーション		臨床理学療法学	45	中林紘二・吉村恵三	兼任
生活環境学 30 原口 考 兼任	地域理学療法学	1	30	倉富眞/大川内直木/美濃光・他	兼任
		生活環境学	30	原口 考	兼任

臨床実習	臨床実習 I	40	臨床実習指導者	兼任
	地域リハビリテ ーション実習	40	臨床実習指導者	兼任
	臨床実習Ⅱ	240	臨床実習指導者	兼任
	臨床実習Ⅲ	720	臨床実習指導者	兼任

【自己評価2-2】当てはまる自己評価欄に○をつけてください。

自己評価	評価内容	判定
0	養成施設指導ガイドラインに基づき、教育課程を体系的に編成している。	3
	養成施設指導ガイドラインに基づき、教育課程をおおむね体系的に編成している。	2
	養成施設指導ガイドラインに基づいていない、または教育課程を体系的に編成していない。	1

【自己評価 2-3】当てはまる自己評価欄に○をつけてください。

自己評価	評価内容	判定
0	シラバスにすべての授業科目の授業計画、全体目標、成績評価基準・方法を明記している。	4
	シラバスにすべての授業科目の授業計画、全体目標、成績評価基準・方法をおおむね明記している。または、大半の授業科目の授業計画、全体目標、成績評価基準・方法を明記している。	3
	シラバスの記載が十分ではない。	2
	シラバスが作成されていない。	1

【自己評価3-1】当てはまる自己評価欄に○をつけてください。

自己評価	評価内容	判定
	養成施設指導ガイドラインに従った診療参加型による臨床実習を実施している。	4
0	養成施設指導ガイドラインに従った診療参加型による臨床実習をおおむね実施している。	3
	養成施設指導ガイドラインに従った診療参加型による臨床実習を十分に実施していない。	2
	養成施設指導ガイドラインに従った診療参加型による臨床実習を実施していない。	1

【自己評価3-2】当てはまる自己評価欄に○をつけてください。

自己評価	評価内容	判定
0	講義と関連の実習が十分に連動して実施されている。	4
	講義と関連の実習がおおむね連動して実施されている。	3
	講義と関連の実習が十分に連動して実施されていない。	2
	講義と関連の実習が連動して実施されていない。	1

●基本情報:臨床実習の見学又は実践する範囲とそれに関連する講義科目それぞれの開講時期を記入してください。

臨床実習の見学又は実践する範囲	開講時期	関連講義名	開講時期
医療拡乳の目学	1年後期	理学療法作業療法士論	1年前期
医療施設の見学		理学療法概論	1年前期
语能用为这世界。27.27.00目类	2 年後期	リハビリテーション概論	2年前期
通所リハビリテーションの見学			
医療施設等での評価	4年前期	理学療法評価学	
医療施設での実践	4年後期	理学療法プロセス1・2	3年前期・後期

【自己評価3-3】当てはまる自己評価欄に○をつけてください。

自己評価	評価内容	判定
0	養成所指導ガイドラインで定める要件を満たす主たる実習施設で十分な臨床実習が実施さ	3
	れている。	J
	養成所指導ガイドラインで定める要件を満たす主たる実習施設で一部の臨床実習が実施さ	2
	れている。	Δ
	養成所指導ガイドラインで定める要件を満たす主たる実習施設を置いていない。	1

【自己評価3-4】当てはまる自己評価欄に○をつけてください。

自己評価	評価内容	判定
0	適正な臨床実習指導者の下で実習が実施されている。	4
	適正な教員の監督指導の下で実習がおおむね実施されている。	3
	適正な教員の監督指導の下で実習が十分に実施されていない。	2
	適正な教員の監督指導の下で実習が実施されていない。	1

【自己評価3-5】当てはまる自己評価欄に○をつけてください。

自己評価	評価内容	判定
0	臨床実習におけるハラスメント防止のための体制があり、対応が十分である。	3
	臨床実習におけるハラスメント防止のための体制はあるが、対応が十分でない。	2
	臨床実習におけるハラスメント防止のための体制がなく、対応も不十分である。	1

【自己評価 4-1】当てはまる自己評価欄に○をつけてください。

自己評価	評価内容	判定
0	自己点検・評価の体制があり、改善に向けて機能している。	3
	自己点検・評価の体制はあるが、改善に向けて機能していない。	2
	自己点検・評価の体制がない。	1

●基本情報:自己点検・評価体制記入してください。

自己点検・評価組織名	FD 委員会
委員名 (委員長)	竹井和人・國分裕一(高森真須美)
組織の開催頻度	1年に4回
	・ 学生による授業評価の分析
組織の取り組み内容	・授業参観の企画
	・ 教育力・指導力紅葉のための研修会の開催企画
自己点検・評価結果の公表	HPで公表 (URL:https://www.ryokuseikan.ac.jp)

【自己評価 4-2】当てはまる自己評価欄に○をつけてください。

自己評価	評価内容	判定
0	シラバス記載内容を改善する仕組みがあり、シラバスの記載内容の改善が行われている。	3
	シラバス記載内容を改善する仕組みはあるが、シラバスの記載内容の改善は十分ではない。	2
	シラバス記載内容を改善する仕組みがない。	1

●基本情報:シラバス記載内容を改善する仕組みについて記入してください。

	名称	役職者会議(カリキュラム検討会議)
	委員構成等	理学療法学科:高森真須美(副校長)、竹井和人(学科長)、政所和也
		(副学科長)
該当する		作業療法学科:島ノ江寿(学科長)、熊谷隆史(副学科長)
はヨッつ 仕組み	改善の仕組みの実際	厚生労働省指定規則改正や、教授手法の変遷等に伴いカリキュラムお
工业		よびシラバス全体の改正を行っている。
		役職者会議にて教育目標達成のための方向性や枠組みを定め、具体的
		内容については理学療法学科・作業療法学科合同教員会議にて決定して
		いる。

【自己評価 4-3】自己点検・評価及び第三者評価の結果を改善に繋げるための取り組みを記入してください。

自己点検・評価及び第三者評価、FD委員会等により明らかになった課題は、内容に応じて役職者会議、理学療法学科・作業療法学科合同教員会議、理学療法学科会議にて対応を検討している。